


令和8年度 履修証明プログラム募集要項

プログラム 名称	主任介護支援専門員を対象としたスキルアップ講座 「スーパーバイザー・レベルアップ講座」
実施体制	<p>プログラム責任者:保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース 教授 金子 努</p> <p>本プログラムは、以下の4つから構成されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケア構築にかかる専門知識・技術を修得するための科目 2) 多問題世帯など家族に介入し適切に支援するために必要な専門知識・技術を修得する科目 3) 他の介護支援専門員を適切にスーパーバイズするために必要な専門知識・技術を修得する科目 4) ケアマネジメントを適切に実施するのに必要な関連科目 <p>1科目が6時間となっており全体で72時間構成とする。</p> <p>実施については講義および演習形式とする。</p>
講座の目的	地域において核となる主任介護支援専門員のレベルアップを図ることで、地域包括ケア構築を推進する。
受講期間	令和8年7月5日(日)～令和9年2月11日(木・祝)【全12回・総時間数72時間】
対象者・ 受講資格	<p>以下の①及び②の条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校を卒業した者、またはこれと同等以上の学力を有する者 ② 主任介護支援専門員として実務についている者
募集人数	10名(申込多数の場合は抽選) ※最低催行人員:5名
会場	<p>県立広島大学 三原キャンパス(三原市学園町1番1号)</p> <p>※対面での実施を基本とする。</p> <p>状況により、オンライン(Zoom)との併用(ハイブリッド開催)もある。</p>
修了要件	令和8年7月から令和9年2月までの全日程72時間のうち60時間以上の出席があること。かつ、課題提出を行っていること。
受講料	<p>43,200円(非課税)</p> <p>(1日単位の受講はできません。納入後の受講料は、いかなる理由においても返還しません。)</p>

<p>申込方法</p>	<p>(1)下記申込フォームからお申し込みください。 https://forms.office.com/r/4jmftTXdBx</p>  <p>(2)<u>フォームの申し込みが完了されましたら、以下①～④の4点を、書類郵送先へお送りください。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ①【本学様式】履修証明プログラム履修許可願 ②【本学様式】履歴書 ③ 最終卒業学校の卒業(卒業見込)証明書 ④ 主任介護支援専門員研修修了証明書(写し)もしくは主任介護支援専門員更新研修修了証明書(写し) <p>※①②の様式ダウンロードは下記ホームページからも可能です。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/rishu-shoumei/2026m-shoumei01.html</p> <p><u>必要書類の本学への到着をもって受講申し込みを受理します。</u></p> <p>申し込みフォームへの入力後、受講申込受付完了メールを自動返信にてお送りします。届かない場合は、お問い合わせください。</p> <p>正式な受講決定案内及び振込案内は、申込締切日以降にお送りします。</p> <p>パソコンからのメール(@pu-hiroshima.ac.jp)が受け取れるよう設定しておいてください。</p>
<p>申込締切</p>	<p>令和8年6月3日(水) ※必要書類は6月4日(木)必着</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>申込および受講にあたりご提供いただいた個人情報は、本プログラムの運営及び三原地域連携センターの事業に関する事以外目的には使用しません。</p>
<p>問い合わせ 書類郵送先</p>	<p>県立広島大学 三原地域連携センター 履修証明プログラム係 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話 0848-60-1120 (平日 9:00~17:00) FAX 0848-60-1134 メール mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp</p>

【科目別プログラム・開催スケジュール】

令和8年7月5日から令和9年2月11日まで(全12回)

No.	日程・会場	テーマ・内容詳細	担当教員
1	令和8年7月5日(日) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4102	ストーリーによる個人と社会の理解 パーソナルストーリーを聞くことの意義について体験的に学びます。プレイバックシアターやシアターゲームなどアクションメソッドと呼ばれる方法を紹介し、リスニングアワーという「聞くこと」に焦点を当てた手法も紹介します。	作業療法学コース 教授 古山 千佳子 准教授 高木 雅之 准教授 織田 靖史 名誉教授 吉川ひろみ
2	令和8年7月17日(金) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス2223	高齢者のコミュニケーション障害と摂食嚥下障害 ～言語聴覚士が伝えたい支援のヒント～ 高齢者に生じやすいコミュニケーション障害(聴覚障害、失語症、認知症、発声発語障害)と摂食嚥下障害について、その原因や実態、高齢者における特徴について学びます。当事者・介護者・関連職種が互いに満足度の高いコミュニケーションをとれるようになることを目指します。	コミュニケーション 障害学コース 教授 坊岡 峰子 准教授 長谷川 純 准教授 吉澤 健太郎 講師 中村 文
3	令和8年8月7日(金) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4102	地域共生社会を実現するためのインフォーマル・ケア 活性化～知識と技術～① 地域アセスメントによる地域の生活課題の明確化を学びます。地域包括ケアを推進する方針を検討する前提である地域の生活課題の現状と課題を明らかにする方法を理解します。	人間福祉学コース 講師 手島 洋
4	令和8年8月21日(金) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4102	地域共生社会を実現するためのインフォーマル・ケア 活性化～知識と技術～② 住民主体による地域活動づくりを学びます。地域包括ケアの重要な要素である住民活動によるインフォーマルサービスを住民の主体的な活動から開発する方法を理解します。	
5	令和8年9月4日(金) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4208	地域共生社会を実現するためのインフォーマル・ケア 活性化～知識と技術～③ 家族介護者支援の方法について学びます。認知症の人と家族が住み慣れた地域で暮らし続けられるために家族介護者に対して主任介護支援専門員が行う支援について理解します。	

6	令和8年9月12日(土) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4102	骨を知り、骨折予防を考える ～自身の骨密度測定を体験し骨を知る。 そして、自身の事例からの検討～	理学療法学コース 教授 飯田 忠行 作業療法学コース 准教授 田中 睦英
		骨の脆弱性骨折が起こりやすい腰椎・大腿骨の骨密度測定を通して、自らの骨密度を知り、骨折の危険性について学びます。そして、骨折のしやすさや骨折のしやすいシチュエーションについて、これまでの経験からディスカッションし、危険察知能力を高めていただきます。	
7	令和8年10月3日(土) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4506	多問題世帯のアセスメントと介入法①	人間福祉学コース 准教授 大下 由美
		地域で生活する家族の問題を、システム論に基づく評定法と介入法の概要を学びます。1回目は、準備した事例で学修します。午前中は、理論的な学修、午後は実践的な学修になります。2回目、3回目は、受講者からの事例提供希望があれば、その事例を取り上げて、実際のアセスメントと介入計画を立てて(2回目)、実践してもらい、その結果の評価(3回目)を行う内容も可能です。	
8	令和8年10月10日(土) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4506	多問題世帯のアセスメントと介入法②	
		地域で生活する家族の問題を、システム論に基づく評定を行い、その解決を実現するための家族との面接技術について学ぶ機会を提供します。受講者からの事例提供希望があれば、応じますが、なければ用意した事例で学修します。午前中は、理論的な学修、午後は実践的な学修になります。	
9	令和8年11月3日(火・祝) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス4506	多問題世帯のアセスメントと介入法③	
		地域で生活する家族の問題への評定と介入計画の評価を行います。午前中は、理論的な学修で、午後は、サービス利用と家族支援の実践的な知識と技術について、学んだことを共有します。	

次ページに続きます。

10	令和8年12月12日(土) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス 4601	事例を用いたグループ・スーパービジョンの方法と 実際①	人間福祉学コース 教授 金子 努
		スーパーバイザーである事例提供者に焦点を当て、 事例提供者の思考過程を引き出しながら展開してい くために必要な知識と技術を学修します。	
11	令和9年1月11日(月・祝) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス 4601	事例を用いたグループ・スーパービジョンの方法と 実際②	
		スーパーバイザーと検討課題を共有し、再アセスメン トしていくために必要な知識と技術を学修します。	
12	令和9年2月11日(木・祝) 9:30~16:30 会場:三原キャンパス 4601	事例を用いたグループ・スーパービジョンの方法と 実際③	
		事例検討を通じてスーパーバイザーの抱える課題、 論点を明確化するために必要な知識と技術を学修し ます。	

※休憩時間を含みます。